

幕末から今日まで受け継ぐ学びの風土

金田・神崎の教育発祥

8月末から新校舎での学校生活を迎える児童・生徒たち。百年以上の歴史を誇る学校の歩みに大きな節目が刻まれます。ここで、金田・神崎地区の学校教育発祥の物語に迫ります。

長州に大敗喫した小倉藩藩の命運を「教育」に託す

動乱の幕末に、長州藩と幕府とが次代を掛けて戦った「第二次長州戦争」。幕府軍として参戦した小倉藩(福智町も領内)は、「小倉口の戦い」で軍備と機動力に勝る長州藩の猛攻を受けて大敗します。小倉から平尾台、そして最終的に福智町の隣・香春へと敗走した小倉藩は、慶応3年(1867)3月に「香春藩」を発足。藩の再建を教育にかけ、5月には藩校である「思永館」を香春へと移します。それから3

年後、藩庁と藩校を香春から豊津(現みやこ町)に移し、藩校を「育徳館」と改称。この間に20もの支館が開校され、現在の福智町内には、弁城村支館(弁城)と神崎村支館(神崎)がこのとき設置されました。神崎村支館では、九州屈指の私塾「水哉園」で学んだ漢学者・佐藤猶龍が「120人ほどの門弟を熱心に指導した」と伝えられています。



→佐藤猶龍の功績を称え建立した碑(神崎)。

金田・神崎の教育発祥の地 碧巖寺の私塾「昭倫舎」

小倉藩の命運をかけた「教育」の機運は高まりをみせ、藩内各地で私塾や寺子屋が盛んになります。なかでも有名私塾の「咸宜園」や「恒遠塾」で学んだ碧巖寺(金田)17代住職黒田天麟は本堂



→教育の礎を築いた碧巖寺黒田天麟和尚の図を「昭倫舎」という塾舎にし、下田川地域の教育振興に尽力します。明治5年(1872)8月に「学制」が發布されると、翌年3月、

Close up! Japan History

幕末・明治を大きく動かした長州藩の「教育の力」

↓多くの偉人を輩出した松下村塾。

中国地方の150万石の大大名だった毛利家は、天下分け目の「関ヶ原の戦い」で石田三成方に味方し、家康の反感を買って長州藩36万石の外様大名に転落します。財政が逼迫した長州藩は、3万人いた家来を1万人以下に削減せざるを得ませんでした。解雇された家来たちの多くは農民などに転身しましたが、国を支える人材育成として子々孫々に一定以上の教育を受けさせ続けます。幕末の長州藩には他藩よりも私塾や寺子屋が多くあり、106の私塾、1304の寺子屋が存在。その中の1つである吉田松陰の私塾「松下村塾」では奇兵隊の創設者・高杉晋作や初代首相・伊藤博文が学ぶなど、幕末から明治にかけて、日本の礎を築く重要人物たちが、教育を重んじた長州藩から数多く輩出されました。



上野小学校、市津支校、弁城小学校、伊方小学校が開校。昭倫舎はそのまま「金田小学校」へと移行する形で、黒田天麟を初代校長として創設されました。藩の命運を託した幕末からの教

育の取り組みはこうして結実し、147年もの間、金田・神崎地域の子どもたちを育んできた「金田小学校」の歴史が幕を開けたのです。

Key Person! Interview

「因幡の白兔」と呼ばれた黒田天麟



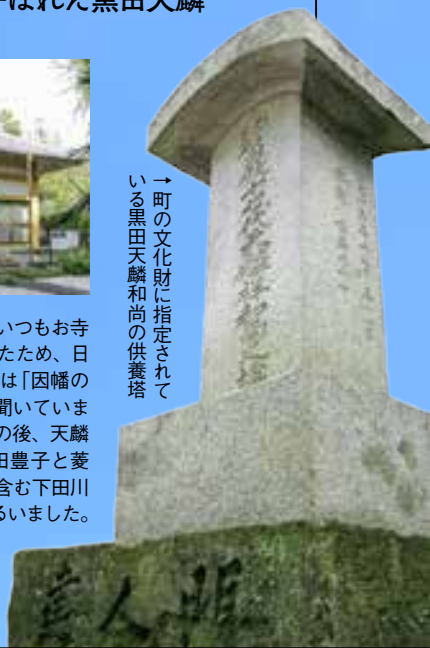
→金田小発祥の地・碧巖寺。

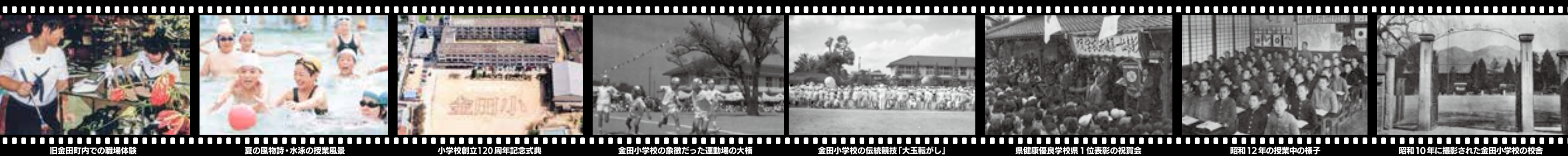
天麟和尚は本が好きで、いつもお寺の中で勉強に励んでいたため、日焼けせずに色白で、身内からは「因幡の白兔と呼ばれていた」と伝え聞いています。教育者としての意志はその後、天麟和尚の直系の子孫である黒田豊子と菱沼サトへ継承され、金田小を含む下田川地域の小・中学校で教鞭を振っていました。



聖応寺(小倉南区)・碧巖寺
黒田 教江 住職

→町の文化財に指定されている黒田天麟和尚の供養塔





旧金田町内での職場体験

夏の風物詩・水泳の授業風景

小学校創立120周年記念式典

金田小学校の象徴だった運動場の大楠

金田小学校の伝統競技「大玉転がし」

県健康優良学校県1位表彰の祝賀会

昭和12年の授業中の様子

昭和10年に撮影された金田小学校の校舎

「神楽」
仰げば尊し、我が母校
——ありがとう、そしてさようなら、金田小・中学校

卒業生が振り返る母校

金田小学校・中学校を卒業した90歳代～10歳代までの各世代10人に、
在学中の様子や思い出、母校や後輩へのメッセージをお伺いしました。



今はなき懐かしの「神崎分校」 S35 卒業

私が小学校1・2年生まで通った神崎分校は
児童が少なかったため全員と仲が良く、担任
の先生と母との歳が近かったため、学校は家
族のような存在でした。



あおの よしのぶ
青野 義信 さん

分校は昭和44年に廃
校になり校舎は残ってい
ませんが、近くを通るた
び分校で過ごした日々が
鮮明に思い出されます。

物資不足に苦しんだ学生時代 S18・16 卒業

私たちの学生時代は、戦争末期で色んな物
資が不足していました。特に困ったのは食料。
運動場では大豆や野菜を育て、上級生は平原



たちばな とし子 さん

もり の つよもと
森野 月夜 さん

地区の森を開墾に行っ
ていました。日本にとって
本当につらい時期を乗り
越えてきたので、今の
平和な世の中があるん
だなと痛感しています。

かつて母校で受けた軍国教育 S16 卒業

私が小学校の頃に日中戦争が始まり、体育
とは別に「教練」という軍事訓練を受けていま
した。次第に日本は戦争一色に染まり、普通



ふくだ まさる
福田 昌 さん

教科の学習は削減され、
耕作や教練などの時間
に充てられました。戦争
の記憶が薄れていく今、
戦争の悲惨さを改めて
知って欲しいと思います。

人生に密着する金田小・中学校 S62 卒業

金田小・中学校を卒業し、教員免許を取得
するための教育実習も金田中で行いまし
た。私の3人の子も金田小・中学校出身で、



おおつば じゅん こ
大坪 純子 さん

PTA 会長も通算で3
期努めました。人生に
密着し、思い入れのあ
る両校が新たに生まれ
変わることを家族全員
で楽しみにしています。

憧れた「大玉転がし」の花形 S53 卒業

紅白の大玉を運ぶ速さを競う金田小運動会の
伝統競技「大玉転がし」が記憶に残っています。
背の高い6年生が大玉をゴールへ運ぶ役割が



ながとみ ひさみ
永富 久三 さん

花形で「いつかは自分も」
と思っていました。身長
が伸びず夢はかないま
せんでしたが、友達と一
緒に競技で盛り上がっ
たことを覚えています。

金田小学校のリトル・巨人軍 S48 卒業

同級生と遊びで軟式野球チームを結成し、
小学校の運動場で上級生や市場小のチー
ムと試合していました。ユニホームは全員で巨



つるもと りゅういち
鶴元 龍一 さん

人軍の物をそろえてい
ましたが、番番号は当
時絶大な人気を誇った
王貞治の1番、長嶋茂
雄の3番を背負ったユ
ニホームだらけでしたね。

6年間汗流した小学校の運動場 H29 卒業

小1の頃から「金田少年サッカークラブ」に所
属し小学校のグラウンドで汗を流しました。
練習日の月・火曜日は学校で仲間たちと宿題



たぎ ひろなり
田吹 光翼 さん

したことを思い出します。
思い出のある校舎がな
くなることはさみしいで
すが、後輩たちには新
しい校舎をたくさん走り
回ってほしいと思います。

甲子園優勝支えた地元の応援 H24 卒業

小学校時代は「金田ジュニアクラブ」に所属し、
金田中を卒業した後、大阪桐蔭高校へ進学
しました。高3のとき勝ち取った甲子園の舞



ふくしま こうご
福島 孝輔 さん

台に、金田の友達や恩
師が試合の応援に駆け
つけ、エールを送ってく
れたことが優勝の後押
しになりました。今でも
心から感謝しています。

海外への視野広がった小学校時代 H11 卒業

各学級と中継で行われた「児童会長選挙演
説」が印象深いです。緊張しつつもカメラに
向かい一生懸命に話し、無事当選。その後、



いけだ しゅんろく
池田 稔康 さん

児童会長として「車いす
テニス大会」の交歓会
に携わった経験から海
外への視野が広がり、
現在ではオーストラリア
で生活を送っています。

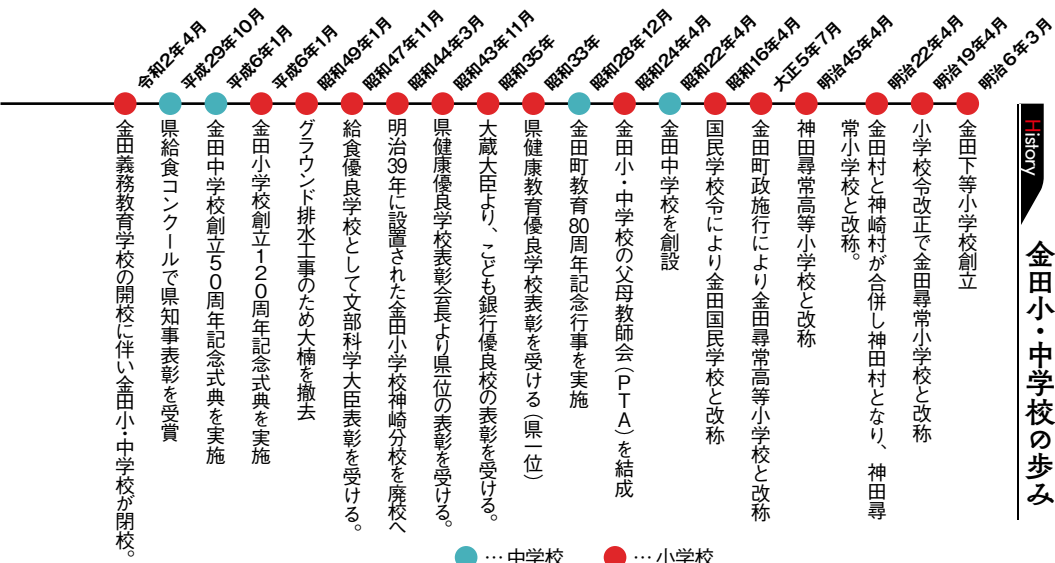
学 校を象徴するといわれ
る校歌。金田小で歌い
継がれる校歌の中に「雄々し
き自然の懷に、生い立つ健児
千二百」という歌詞がありま
す。明治6年の金田小学校創
設時にたつた50人程度しかい
なかった児童は、昭和22年
には歌詞どおり、1千2百人が
在籍。同年には、学校教育法
で義務教育が「6・3制（小学
校6年、中学校3年）」と定め
られたことから「金田中学校」
がこのとき設立されました。
その後、日本は戦後のベビー
ブーム期を迎え、昭和32年

には、金田小史上最高となる
1千8百人ほどの児童が通学
し、「1学年にだいたい6組ほ
どあった」と言われています。
「明治大正昭和平成令和」
という5つの時代を金田・神
崎地区の子どもたちとともに
過ごした金田小学校からは、
総勢1万6千368人の子ど
もたちが「伝統築く学び舎」
を巣立っています。そして、
令和2年3月31日「金田義
務教育学校」の開校に伴い、
金田小は147年、金田中は
72年に及ぶ長い歴史の幕を
閉じたのでした。



自作の法被で舞うロックソーラン節

芸術鑑賞教室でプロの俳優と金田中学生徒が競演



感謝の言葉

令和2年8月5日「校舎ありがとうの会」

これまでお世話になった校舎に、心を込めて感謝の言葉を贈ります。
雨の日も、風の日も、どんなときでも私たちを守ってくれたこの校舎。
この校舎でたくさんの友達ができました。また、たくさんの思い出ができました。
時には泣き、時には笑い、多くのことを学び、この学校で大きく、大きく成長することができました。
僕たち、私たちだけではありません。この学校から16358人の人が卒業していきました。
この学校で学んだすべての人の想いを胸に、今、感謝の気持ちを伝えましょう。
お世話になったこの校舎へ—— ありがとうございました。（在校生二同）

業が連続する中、昼休みなどの
空き時間を費やし、全てがゼロ
の状態から子どもたちの力だけ
で開会へとこぎつけました。
そして迎えた旧校舎で過ごす
最後の日。太陽の光がじりじり
と照りつける中開かれた「校舎
ありがとうの会」。全校児童で練
習を重ねてきた「感謝の言葉」に
始まり、旧校舎で歌う最後の校
歌を斉唱しました。式の最後は
は、各学年の代表者など7人が
目頭を熱くしながら感謝の気持
ちを込めたバルーンを大空へと
リリース。子どもたちは、旧校
舎で過ごした日々を想いを馳せ
ながら、天高く登っていく風船
をいつまでも見上げていました。

1「今までありがとう」などの
感謝や思い出などが書かれた
短冊を風船に付けて、学年代
表者がリリース。2大空へと
昇っていく7つの風船を全校児
童が拍手でお見送り。3旧校
舎内に響いた最後の校歌斉唱。

Interview With Teacher!

成長を目の当たりにした体験に

「校舎ありがとうの会」のほぼ全てを子どもた
ちの手で作り上げてきました。児童会担当
教員として見守ってきたこの集会を無事や



児童会担当教員
なかの ぎんき
中野 弦己 さん

り遂げたことに感動した
とともに、児童の成長
をうれしく感じています。
新校舎での学校生活
でも「人間力」の向上に
つながる活動に携わっ
ていきたい思います。

Interview With Student!

悔しさを「思い出に残る集会」へ

当日の集会は、みんなと協力して無事成功
することができました。卒業式ができなかつ
たのは本当に残念ですが、最後に思い出

に残る「校舎ありがとう
の会」ができたのでよ
かったです。2学期から
新校舎での生活が始
まりますが、これからも
学校を盛り上げる活動
を行ってみたいです。



児童運営委員長(小6)
かわにし しずか
川西 彩紗 さん

学び舎へ伝えた感謝

1万6千358人のあふれる想いを胸に

令和2年、コロナ禍の中で
ひっそりと閉校した金田小学校。
全校児童で今までの感謝を伝えようと
旧校舎で過ごす最後の日に
「校舎ありがとうの会」を開きました。
子どもたちが「ゼロ」から作り上げた
学び舎での最後の十分間。
子どもたちは何を想い、
そして何を感じていたのでしょうか――。

2

